

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや

1 成果報告

昨年度は、事業実施にあたり、入口支援と出口支援の強化を重点とした。組織体制では、常勤を配置し、ピアサポーターの人員確保・育成を行った。財政基盤では、企業からの寄付や事業収入増に努めた。

(1) 事業

①自立支援プログラム

東京都ひきこもり等の若者支援プログラム普及・定着事業研究事業（以下：東京都事業）で、新たに研究団体として、「訪問相談・支援」が採用され、これまでに取り組んできた「居場所・フリースペース」、「社会体験活動」と合わせて、3つの事業を実施する団体となり、単独で入口支援から出口支援を行う団体となった。東京都事業を実施する14団体のうち3つの事業に取り組んでいるのは、当法人を含め4団体で、認知度の高まりもあり、相談件数の増加、利用者の拡大につながった。訪問支援では、必ずしも本人に会えるわけではないため、家族会（親の会交流会・学習会）を中心とする家族支援を定着させることができた。昨年度開拓した協力・受入企業に対してと十分な対応はできなかった。しかしながら「社会参加」事業では、アルバイトを望む利用者に対して、事務所界限で受入先を開拓し、受入につなげた。またPC資格取得講座の開催（1回）、資格取得者による他団体での講座を開催することができた。児童擁護施設で過ごす子どもたちの資格取得を手助けするプロジェクトは、クラウドファンディングを実施したが、予定寄付金を集めることができず、活動には至らなかった。

また養育困難な子と家庭の支援は、助成金申請が不採用となったため、企業との連携による飲料自動販売機の売上に応じた寄付金をもとに、ポスター、啓発グッズを作成した。渋谷ピアネットや大学生を中心とする渋谷わかもの会議とともに、渋谷区内で開催された児童虐待防止にかかわるイベント等に参加し、普及啓発を行った。

②被災地支援

大槌では、盛り土による沿岸地域のかさ上げ工事が本格化したが、人口流失や高齢化がより一層進んでいる。合わせて年々、支援ボランティア数の減少や、それに伴う訪問者の減少も顕著で、高・大学生中心に、現地で交流する価値を理解し、活動を続けている。

現地への訪問頻度は減ったが、日本テラワダ仏教協会（以下：テラワダ）様より昨年度に引き続き、継続的に資金援助をいただき、年4回の活動を行った。

都立広尾高校で実施した「奉仕」の授業で、大槌町での被災地支援活動を中心とする学生ボランティア活動を紹介する依頼や日本計画行政学会大震災復興支援特別研究チーム「社会貢献プラットフォーム」（以下：計画行政学会）を通じて連携した東洋学園大学の協力をえて、8月には、ゼミのフィールドワークとして、バスツアーを行い、第2回目の高校生、大学生による理想の大学として、大学がない大槌で、大槌大学を実施した。

(2) 組織運営

訪問支援事業を通じて、家族対応可能なピアサポーター（主任支援員）及び若者に対応するピアサポーター（若者支援員）の人材確保を行い、若者を中心として周囲の関係調整を行い、状況の改善に努めるYSW（ユース・ソーシャル・ワーク）の学習を進め、育成を行った。財政基盤では、3つの東京都事業を行うことで、法人や実施事業の認知度が広がり、事業収入を増やすことができた。飲料自動販売機の設置件数や、法人入居ビルオーナーの厚意により、寄付金額の割増をいただくなどもあり、寄付金を増やすことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)

不登校、引きこもりの子ども・若者とその家族及び関わりを持つ者に対する相談事業	①事前相談 ②個別相談	①②平日	①事務所 ②事務所	①2名 ②2名	①メール29件 電話45件、来所101件 ②メール87件 電話116件、来所189件	1,435
居場所での異年齢・異世代の学びあいを通してコミュニケーションの力を高める学習事業	①フリーティス ②居場所・フリースペース	①平日、1教科週1回 90分 ②平日238日	①事務所 ②事務所	①2名 ②5名	①5名 ②15名（のべ来所人数281回）	501
不登校・引きこもり等問題を抱える子ども・若者への訪問型支援事業	①アウトリーチ型支援 ②渋谷区教育センターへの協力（小中学生対象）	①平日1～2時間 ②平日1～2時間	①家庭訪問、公共機関、喫茶店等 ②家庭訪問、送迎、保健室	①14名 ②3名	①14名（290回） ②のべ4名	2,071
スポーツ体験、自然体験等の体験活動を通じた自立支援事業	社会参加	平日随時実施	事務所、恵比寿東公園、渋谷上原社会教育会館、ケアコミュニティ原宿の丘	5名	13名（のべ897名）	520
就学者及び退学者に対する学業支援事業		平日、教科週1回90分	事務所	2名	2名	100
青少年に関する諸問題の調査・研究事業	実施なし					
青少年に関する講演等への講師派遣事業	実施なし					
前各号に掲げる事業に関するノウハウ等のコンサルタント事業	内閣府アウトリーチ研修生の受け入れ	10月の5日間	事務所、原宿ファンイン、家庭訪問	4名	3名	195
その他目的を達成するために必要な事業	①研修会の実施 ②人材育成 ③家族支援 ④被災地支援	①14回 ②14回 ③22回 ④4回（2泊3日）	①②事務所、上原社会教育会館等 ③事務所、上原社会教育会館、ケアコミュニティ原宿の丘、代々木小公園、初台民館他 ④岩手県大槌町	①4名 ②2名 ③44名 ④8名 ⑤20名	①のべ255名 ②のべ126名 ③のべ201名 ④のべ37名	3,944

(2) その他の事業 実施なし

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費の 金額 (千円)